

令和2年度「学校·家庭地域連携推進事業」

家庭教育支援研修会 主催: 愛媛県教育委員会

コロナ禍をはじめとする社会の変化に対応した多様な支援方法を探る

~オンラインでつながる全国の先進事例と愛媛の家庭教育支援~



今年度の研修の目玉!

①いつでも だれでも どこでも 学べる!

コロナ禍に対応したオンデマンド配信(YouTube による動画配信)

②先進的な3事例の視聴が可能!

令和元年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰受賞3チーム

③愛媛県内の家庭教育支援チームも動画に出演!

県内の家庭教育支援チームの関係者が代表質問等を行う。

研修の流れ



1) 事前質問の受付

別添の各チームの活動概要を見て、事前の質問があれば $1 \neq 20$ 日 (水) までにお送りください。

② 先進事例を動画視聴

愛媛県教育委員会社会教育課HPの 令和2年度家庭教育支援研修会から YouTube による動画配信により、



2月15日(月)~26日(金)の期間に視聴

URL:https://ehime-c.esnet.ed.jp/shougai/index.html



(動画のイメージ)

3 視聴後の質問受付 アンケート(質問)を3月1日(月)まで受付

4) 質問への回答をホームページに掲載

【北海道】

釧路市家庭教育支援チーム

- 家庭教育講座「ほわっと」開催
- 生活習慣啓発資料の作成・配布
- 訪問型アウトリーチによる直接支援

【静岡県】

島田市家庭教育サポートチーム

- 家庭教育ワークシート「つながる シート」を活用した学習会の開催
- 就学時健診や入学説明会における 「親学講座」の実施

【大阪府】

泉大津市家庭教育支援チーム

- 家庭訪問型と小学校配置型の2つ の支援を組み合わせて活動
- 令和元年度から教育と福祉の連携 を強化し、支援する保護者を拡大



都道府県名:北海道

釧路市家庭教育支援チーム



釧路市家庭教育支援チームは、平成 25 年の結成以来、「全て」の家庭に対する家庭教育 支援を目指しています。

ユニバーサル的視点による支援として、家庭教育講座の開催や生活習慣啓発資料の作成・ 配布を行っているほか、ターゲット的視点による支援として、電話相談対応や教育的課題を 拘える家庭に対しての訪問型支援など、様々な支援活動を行っています。

組織体制では、家庭教育支援や子育て支援に関わる職員のほか、スクールカウンセラーや スクールソーシャルワーカーなどの専門家がチームをつくり、関係機関と連携しながら就学 前から就学後までの切れ目ない支援を行っています。

活動拠点を置く市町村

釧路市:人口 168,188 人(令和元年12月1日現在)

活動範囲

釧路市内全域

活動開始年月

平成25年4月

構成員

20人(元教員2人、スクールソーシャルワーカー2人、 スクールカウンセラー1人、社会福祉法人職員2人 など)

活動形態

- 保護者への学びの場の提供
- □ 地域の居場所づくり

)

■訪問型家庭教育支援

□ その他(

活動対象

- 乳幼児
- 小学生(低学年)
- 小学生(中学年)
- 小学生(高学年)

- 中学生
- □ 高校生以上

の子供を持つ保護者に対する活動を実施

活動の目的・趣旨

家庭は教育の原点であり、全ての教育の出発点です。未来を担う釧路の子供たちが健やか に成長することができるよう、様々な家庭教育支援活動を通じて、家庭の教育力の向上に努 めています。

主な活動内容

■家庭教育講座「ほわっと」の開催

家庭における生活・学習習慣、子供との関わり方等について学びを深める機会として、各学校の単位 P T A 研修会や幼稚園・保育所の参観日等の機会を活用した、訪問型家庭教育講座「ほわっと」を実施しています。より多くの保護者等が参加できるよう、子供の発達段階に応じた講座のテーマを設定するとともに、あらゆる機会を利用して、講座の案内や実施報告を周知しています。



【幼稚園保護者向け講座】



【親子の体力づくり】



【保護者交流】

■生活習慣啓発資料の作成・配布

「早寝・早起き・朝ごはん運動」、「くしろっ子 共に育てる10か条」等、 家庭における生活習慣定着を啓発するリーフレット等を作成し、家庭教育講座 や市内一斉に開催される小学校の新入学児童保護者説明会等の機会を活用して 配布しています。



■訪問型アウトリーチによる直接支援

社会福祉法人と連携し、不登校等の教育的課題を抱える家庭への支援として、「ファースト・ステップ・プログラム」事業を実施しています。「釧路こども家庭支援センター」を拠点として、家庭訪問及び子供の通所支援、午前中を活用した活動支援、保護者への相談支援等を行っています。



【制作活動】



【イモ掘り体験】



【学習会】

活動の成果と今後の展望

- ・家庭教育講座の参加者が増加傾向にあり、「早寝・早起き・朝ごはん」の必要性や効果等の啓発が徐々に進んでいます。
- ・これまで家庭からの第一歩を踏み出すことができなかった児童生徒が本取組を通じて、協調性、社会性、忍耐性等が育まれ、生活リズムや不登校状況等が改善されるとともに、子供の成長を通して保護者も成長するなど、着実に家庭全体の支援における効果が現れています。
- ・北海道教育大学釧路校と連携し、学生のフィールド学習の場としても活用されており、将来の教員の人材育成の観点においても貢献しています。
- ・チーム設立から6年が経過し、今後も事業が持続し、より効果が発現されるよう日々改善を検討していますが、中学校での講座実績が低いことから、より一層の学校との連携や保護者のニーズに適合した取組の検討を続けていきます。

都道府県名:静岡県

島田市家庭教育サポートチーム

島田市家庭教育サポートチームは、市が委嘱する「ペアレントサポーター」で構成されています。 子供を持つ保護者が安心して子育てに向き合えるよう、保護者に学習機会を提供し、ペアレントサポーターがファシリテーターや講師として活動しています。子育て経験者のメンバーが和やかな雰囲気を生み出し、保護者が安心して話し合える場を作っています。「無理なく できる人が できるときに」をモットーに、自分たちも楽しみながら、柔軟な支援をしています。

※島田市の「ペアレントサポーター」は、「家庭教育サポートチーム」「子育て広場チーム」「読書推進チーム」の3チームに分かれ、それぞれの得意分野で活動しています。

_	ムに分かれ、それぞれの得意分野で活動しています。
活動拠点を置く	市町村 島田市:人口 98,323人(令和元年11月末日現在)
活動範囲	島田市内全域
構成員	12人(全員が子育て経験者で、元教員、元保育士、元管理栄養士、 学童保育指導員、子育てサークルスタッフなどで構成)
活動形態	の学びの場の提供 □ 地域の居場所づくり □ 訪問型家庭教育支援
口その他の	
活動対象	
□ 乳幼児□ 中学生	■ 小学生(低学年)■ 小学生(中学年)□ 高校生以上の子供を持つ保護者に対する活動を実施
江野 中日 物	

活動の目的・趣旨

- ・家庭の教育力の向上を目的として、保護者が家庭教育に関する話合いをしたり講話を聴いたりする 学習機会(学習会や講座)を提供しています。
- ・学習会や講座を通して、保護者の悩みや不安を軽減するとともに、保護者同士をつなぐことを目指して活動しています。
- ・子育て中の保護者が気軽に相談できるよう、ペアレントサポーターが身近な子育ての先輩として、保護者の思いに寄り添うことを大切にしています。

主な活動内容

型品 家庭教育ワークシート「つながるシート」を活用した学習会の開催

市内の小学校(全 18 校)で、小学校1年生の保護者を対象に、「つながるシート」を活用したグループワークを行う学習会を開催しています。「つながるシート」は、子育てや家庭教育について自由に話し合う際に使用するワークシートです。地域や保護者の実情に合わせた、身近な内容の「島田版つながるシート」を作成し、活用しています。アイスプレイクで場を和ませ、シートに沿って日頃の何気ない悩みや不安についての話合いを進めます。時には、子育てに関するヒントとして絵本の読み聞かせをしています。





当前 就学時健診や入学説明会における「親学講座」の実施

市内の小学校(全 18 校)で、就学時健診や入学説明会に合わせ、全ての保護者に家庭教育の学びを届ける「親学講座」を実施しています。ペアレントサポーターが講師となり、自身の失敗談などを交えながら話すことで、保護者が親近感を持って話を受け入れられるよう工夫しています。講座では、市独自の「親学ノート」を活用しています。より分かりやすい資料にするための改訂も行っています。





活動の成果と今後の展望

- ・ペアレントサポーターが和やかな雰囲気作りをしているため、保護者が安心して話し合うことができています。また、「先輩ママ」という身近な立場で、自身の失敗談を話したり、悩みを聴いたりすることで、保護者の不安を和らげています。
- ・市独自の資料を作成し改良することで、保護者の話合いが活性化し、学びが深まっています。
- ・ 今後も全ての市内小学校で、「つながるシート」を活用した学習会と親学講座を継続して実施していきます。

都道府県名:大阪府

泉大津市家庭教育支援チーム



- ★子育てに悩みを抱えている保護者、相談できる 人が近くにいなくて孤立しがちな保護者に寄り 添い、「意味あるムダ話」をしながら、保護者が 子育てに対して自信をもてるよう、サポートをし ています!
- ★家庭訪問型と小学校配置型の2つの支援を組 み合わせて活動しています!

活動拠点を置く市町村

泉大津市:人口 74.548 人(令和元年12月1日現在) 【問合先】泉大津市教育委員会事務局 指導課 0725-33-9357

活動範囲

泉大津市内全域 和泉市(調整区域)

活動開始年月

平成17年4月

構成員

サポーター9人(子育て経験者9人)、市SSW、市CSW、市教委指導主事

活動形態

- 保護者への学びの場の提供
- □ 地域の居場所づくり
- 訪問型家庭教育支援

□ その他(

活動対象

- 乳幼児

- 小学生(低学年) 小学生(中学年) 小学生(高学年)
- 中学生
- □ 高校生以上

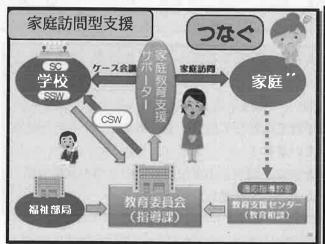
の子供を持つ保護者に対する活動を実施

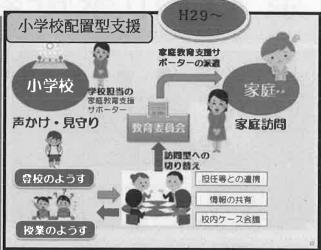
活動の目的・趣旨

★保護者の「エンパワメント」

- ①ひたすら保護者の話を聞きます!
 - □保護者の話すことに耳を傾け (傾聴)、 保護者がしたい話をします (保護者との「意味あるムダ話」)
- ②「お土産」を持って伺います!
 - □保護者がもらってうれしい「お土産」 (=子どもの成長した姿、頑張っている姿) を伝えます
- ③信頼関係を築いて、学校などとつな ぎます!
 - □必要な場合は、福祉の専門家等と連携 して、必要な支援先につなぎます
- ④保護者が「エンパワメント」されて きたらフェードアウトします!
 - □家庭教育支援サポーターは"松葉杖" のような存在です

主な活動内容





教育と福祉の連携強化



【取組み1】

支援する保護者を拡大

小·中学生

(6歳~15歳)



乳幼児 (0歳~6歳)

L ス 0) 支

【取組み2】

福祉部局の担当者と連携強化

心理職 要対協職員

保健師

就学前施設 (公立・民間) 顏 0 見 え る 関

係

福祉部局からのオファー

全10件

活動実績

■心理職 :8件

■要対協職員:2件

活動の成果と今後の展望

〔活動の成果〕

・保護者が子育てに前向きにな ることによって、子どもの問題 行動(落ち着きのなさ、暴力的 な素行、不登校状態) にも改善 傾向が見られるケースが増えて います。

〔今後の展望〕

・できるだけ早い段階での支援 開始をめざして、福祉部局との 連携をさらに進めていきます!

<家庭訪問型支援>

H29 訪問回数 101 回 支援した家庭数:13家庭

H3 0 訪問回数 142 回 支援した家庭数:12家庭

R1 訪問回数 93回 支援した家庭数:20家庭※ (福祉部局からのオファー含む)

<小学校配置型支援>

H29 配置回数 197 回 情報共有した家庭数 25家庭

H30 配置回数 240 回 情報共有した家庭数: 35家庭

R1 配置回数 204 回 情報共有した家庭数:30家庭※

※令和元年度については、12月末現在